

夕刊 (刊) 休日 日曜大祭 一ヶ月二十五日 郵税十五銭 部二 廣一行 四〇銭 料告所 廿銭増 印刷人 牛谷政次 發行所 牛谷政次 所行 島津平町四 丁目五番地 所行 島津平町四 丁目五番地

### 改革概論(三)

大内 民 惠

大學教授授受を説明し、又學生が、學生はペンとてね、ペンにインキをつけて、ノートブックに字を書いてゐたよ一頭の一筆い、學生がマルクス、ボオイ、二番目が文學青年、三番目が野球狂ひ、それから最後が柔道、擊劍、相撲部といはれたものだ。

商品にもならん様なものを各大學で毎年一萬二千づつも製造だね、つまり大量生産的に粗製濫造をやつたんだ、だから大學市場はがた／＼さ丁度其頃流行つたセキセイインコの様にね、僕等は

大學卒業生のことをインテリクチュアル、インコと云つたものだ、その質あまりインテリクチュアルでもなかつたんだがなあ、そこへ野球といふやつが流行り出した、大學はまるで慶戦が満都の人氣をあげて居た頃はすこかつたものだよ

政府がたまつて見てゐた所ぢやない、獎勵した

よきしく學生に運動させ等々、選手の方もまたい、てスポーツの方へ人氣を轉移になつて、たかがゴム球換させたのさ、運動に熱中の投げつこ位で一角英雄氣するものは自然馬鹿になり取りをして、それで青年時眞理に對して目を閉ぢ、精代の

勉強盛りをゴム球で暮らしてさ、まあ小猫がぢや分つてゐたんだねえ、野球の選手にやうなものさ、その選手に

月給三百圓づつ、もやつてゐたところもあるし、ニフオムはくれる試験の點で、たゞワイ、騒いで暮は甘くする將來は保證するしたのさ。

父兄の喜び 一方な、ての土地使用と家屋の移轉を快諾され従来兎角愛谷江筋をへだて、互に對岸部を視した新川町と堤の内は期費百六十五圓余を立ち所にせすして

### 久と四倉の抗争

山田、野崎の兩縣議に轉り込んだやうな功名

四倉町の角網と双葉郡久のふまでもなく適々縣會議長濱の大嶺網とに於ける紛争、淡芳藏氏の葬儀で落合したは既報の當如く縣局の調査、藤山田六郎(双葉)野崎滿によつて互に違反行為ある藏(石城)兩氏の各代表を以て暴露したが此上の抗争が向後他を侵害せざる條件相互の不利であることは云の下に圓滿なる手打を見た

諸橋家の美學に 動かされた區民 互に對岸視した堤内 新川町の一視同仁

委員會を開いたが、石城郡湯本町字本町佐藤久三郎假名一は去十六日夜

### 磐城銀行の更生

廿七日の重役會で今月中にはと云ふ奮策

磐城銀行に於ける復活策は重要事項に就て慎重な其の後の経過は會報の如く議をこらし休業尙ほ一ヶ月の更生案に基づいて豫月を繼續することに決し同金者の株振替承諾を半數以五時散會したが同行の復活上に漕ぎつけたので今一とは白井一家の努力を主眼と息と云ふ所までになつた同し今回こそは遠からざる様行では廿七日午後三時から様である。

賀額氏等 は清水氏説を出張したが市原氏の仲裁案によつて會長以下左記を決し午後四時開會直ちに谷口樓に懇親會を開いて散會した因に五年度預算は千二百廿二圓並に基本金千七百四十二圓四十七錢現在會員は百名である。

圓滿な郡醫師會 市原前會長の斡旋で 役員改選無事決定

### 經濟方面

國産品の使用に就て

石城郡湯本町字本町佐藤久三郎假名一は去十六日夜

蓋し我國國際貸借の主要部分を構成するものは外國貿易であつて貿易は常に逆調を繰返して貿易外收入を以て居ることは國民の周知するところである。

ごうぞ御散歩がてらに御来店を  
美判の平町田町サロンの  
サロンの公休日毎月第三日曜  
電話三五二番

樽詰生ビール並に  
タンク入ソーダ水  
平町橋矢のソーダファンテン

ソッコップ 一杯 十五銭  
ソーダ水 各種 十五銭

初夏のサロンの  
アイスクリーム  
初めました一杯十五銭

スペインG.H.N元 詰  
甘味葡萄酒  
ゴルフポートワイン  
Y 1.10  
御婦人の方には少し水を加へて  
召し上るさ風味一そう佳良です  
(電話) 西村屋薬舗 (三番)

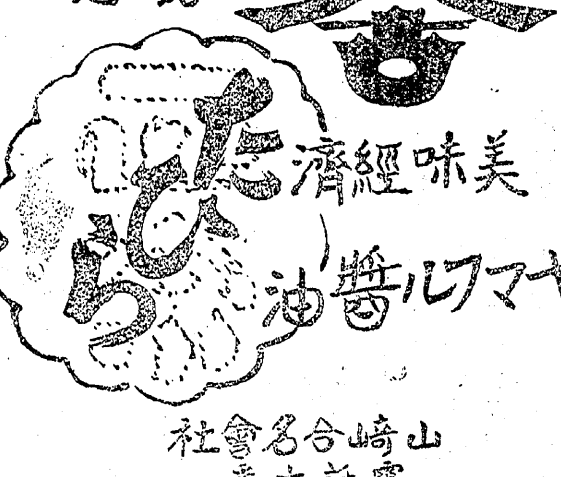
印刷物の御注文は  
會川活版所へ  
平町四丁目

玉屋洋品店  
平町田町電話六五六番



内科 小児科 梅毒 淋病  
市原醫院  
平町田町  
電話一四四番

表代城磐 酒 銘  
美味經濟 油醬ルマヤ  
山崎合名會社  
電話十番



改名廣告  
平局區内才樋小路高橋時計店は好間  
村に同店名有之候故通信其他間違ひ  
の點多きを以て今五月二十六日より  
平町高橋時計店事  
屋號(精幸堂)と改名仕り候間  
不相變御用命御引立の程御願申上候  
昭和五年五月二十六日  
平町土橋通り 高橋時計店改メ  
精幸堂時計店  
店主 高橋 幸

お見様同伴  
のご散歩に  
保健と衛生  
を兼ねたる  
乳母車各種  
平町三丁目 電話三五九番  
各種 本丸ほん  
外運動用 各種 本丸ほん  
に小兒車



ライト 寫真館  
平町才樋小路  
電話八四七番

安價に 迅速に 町噂に 親切に  
福島縣石城郡平町  
遠藤活版所  
電話七四三番

豆と晒あん  
●北海道のよいお豆  
●純小豆製のよい晒あん  
お電話なり下さらば多少に拘らずお届申上げます。  
田巻隆一商店  
平町紺屋町十三。電話九〇八

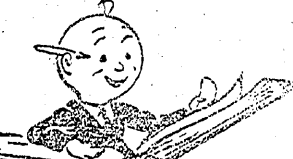
入院應需 自炊の便あり  
明雲堂眼科醫院  
平町前 電話六六九番

諸毒下しの大妙藥  
安流丸  
平町五丁目  
特約 山野造幣局

入 荷 山 積  
ナフトール友仙  
メリス友仙  
春柄本場銘仙  
英ネル新柄  
本セール  
正絹帶皮  
特に勉強の品々  
伊関呉服店

モリタヤ  
平町五丁目  
電話三五三番

初夏に應はしいお召ものは  
洋 傘  
ワイシャツ  
ネクタイ  
メリヤス  
帽子  
靴  
女 生 服



帽 子  
シャツ  
ネクタイ  
子供服

の 春 陽  
は 意 用 御  
〜ヤルツ  
平町四丁目電話一四〇番

